

POPEYE NOTES\_no.871\_2019November\_P.197

01 PRADA

〈ブラダ〉といえば、ナイロンである。ボディにナイロンを使ったコートは極めてシンプルだが、中綿入りで内側に多彩なポケットも付いていて、こう見えて機能的。フードから少しだけ覗くカプチーノカラーのパイピングも〈ブラダ〉の洗練。¥213,000 ※予定価格 (ブラダ/ブラダ クライアントサービス ☎0120・45・1913)



02 BOTTEGA VENETA

首に掛ける小物入れはワイヤレスイヤホン用。〈ボッテガ・ヴェネタ〉のイントレチャートで作ると別格。トートバッグの幾何学的なデザインも格別で、内張りのロイヤルブルーのスエードがまた美しい。AIRPODS ケース ¥59,000、バッグ ¥245,000 (ともにボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタ ジャパン ☎0120・60・1966)

03 TEPPEI TAKEDA

山形で10年以上描き続けている画家の武田鉄平さん。神宮前の『MAHO KUBOTA GALLERY』で作品を眼前にし、唸り、すぐに30点の絵をまとめた作品集を手に入れた。緻密な線を重ね合わせながらも極めて抽象的。でも現代的。世界の評価が知りたい。¥5,000 (ユナイテッドヴァガボンズ [www.unitedvagabonds.com](http://www.unitedvagabonds.com))



05 SKRUF

1897年から続くスウェーデンのガラスメーカー「スクルーフ」の「コロム」シリーズの花器が大阪『dieci』に到着。作家のカリーナ・セス・アンダーソンさんが手掛けたガラスの存在感はお洒落丸出しで、値段もお手頃。花を生けると部屋って変わるから好き。¥5,000、MY 13,000 (ともにスクルーフ/dieci ☎06・6882・7828)



04 HERMÈS

とおした手もとろける〈エルメス〉のカシミアグローブ。シンプルなニット地にレザーを編み込んださりげないデザインは、〈エルメス〉の技を静かに物語る。カシミアのニットキャップと組み合わせて、いざ冬のバリへ。グローブ各 ¥48,000、ニットキャップ ¥62,000 (すべてエルメス/エルメスジャパン ☎03・3569・3300)

